

(2) 淡水魚類防疫薬事総合対策事業

千葉 駿介・竹内 一貴

1 目的

改正薬事法施行による水産用医薬品適正使用の指導を強化し、淡水養殖魚の食としての安全性を図る。また、養殖および放流淡水魚類の防疫対策を実施する。

2 方法

1) 水産用医薬品等適正使用の指導

水産用医薬品の適正使用について指導するために定期的に巡回を行った。また、水産用抗菌剤使用指導書を交付した。

2) 養殖魚・放流魚の防疫対策

(1) 内水面養殖場等における魚病発生対策

内水面養殖場や河川湖沼における魚病発生原因の解明と対策を講じるために、定期的に巡回を行うとともに、魚病発生時には魚病診断を実施し対策について指導した。

(2) 放流種苗の魚病検査および指導

県内の河川に放流されるアユ種苗の冷水病およびエドワジエラ・イクタルリ感染症の保菌検査を行い、県内内水面漁業協同組合に検査結果を公表するとともに、アユ種苗の購入および放流に関して指導した。

検査は、「アユ疾病に関する防疫指針」（平成 23 年 12 月 アユ疾病対策協議会）に記載された方法を参考に以下の手順で行った。1 ロットあたりのサンプリング数は 30 尾（県産種苗は 60 尾）、5 尾ずつ（県産種苗は 10 尾ずつ）プールして 1 検体とした。冷水病については、鰓および腎臓から DNA を抽出し PCR（ロタマーゼ法）による増幅産物（346bp）の有無を確認した。エドワジエラ・イクタルリ感染症の検出部位は腎臓とし、SS 液体培地で増菌後 DNA を抽出し PCR による増幅産物（470bp）を確認した。

(3) 海外由来種苗の魚病検査および指導

海外由来ニジマス卵および種苗について、「水産防疫体対策要綱 別記 1 輸入水産物の着地検査指針」（平成 28 年 7 月 1 日 農林水産省）に基づき着地検査を実施した。

3 結果

1) 水産用医薬品等適正使用の指導

水産用医薬品の適正使用や魚病発生対策のために 19 回の巡回を実施し、6 経営体に対し指導を行った（表 1）。また、水産用抗菌剤使用指導書の交付申請のあった 2 事業者に対し指導書を交付した。

表1 養殖場巡回状況

実施日	実施場所(経営体数)	対象魚	内 容
5月20日	永平寺町(1)	アユ	水産用医薬品等適正使用指導、養殖魚健康診断
7月20日	大野市(1)	マス類	
7月23日	大野市(1)、永平寺(1)	マス類、アラレガコ	
7月25日	永平寺町(1)	マス類	
9月25日	小浜市(1)	マス類	
12月20日	勝山市(1)	マス類	
12月27日	勝山市(1)、大野市(1)	マス類	
2月3日	越前市(1)	アユ	
2月12日	永平寺町(1)	アユ	
2月13日	永平寺町(1)	アユ	
2月14日	永平寺町(1)	アユ	
2月17日	永平寺町(1)	アユ	
2月18日	越前市(1)	アユ	
2月26日	越前市(1)	アユ	
3月7日	永平寺町(1)、越前市(1)	アユ	
3月19日	永平寺町(1)	アユ	

2) 養殖魚・放流魚の防疫対策

(1) 内水面養殖場等における魚病発生対策

内水面養殖場や河川湖沼で発生した魚病の検査を行った(表2)。放流用アユ種苗に細菌性鰓病、シュードモナス属細菌症、養殖用ヤマメに細菌性鰓病、天然のウナギにエロモナス属細菌症が発生した。

表2 魚病診断結果

実施日	場所	魚 種	内 容
4月2日	若狭町	フナ(天然)	抱卵による衰弱
5月31日	若狭町	ウナギ(天然)	エロモナス属細菌症
7月23日	永平寺町	アラレガコ(養殖用)	不明
7月25日	永平寺町	ヤマメ(養殖用)	細菌性鰓病
12月20日	勝山市	ニジマス(養殖用)	保菌検査(IHN,IPN,VHS,OMV,ERM,その他病原菌:陰性)
2月17日	永平寺町	アユ(放流用)	異常なし
3月19日	永平寺町	アユ(放流用)	細菌性鰓病
3月31日	永平寺町	アユ(放流用)	シュードモナス属細菌症

(2) 放流種苗の魚病検査および指導

令和6年4月～令和7年1月の間に、県産海産系人工種苗4ロット、他県産海産系人工種苗2ロット、湖産種苗6ロットについてエドワジエラ・イクタルリ感染症および冷水病菌の保菌検査を実施した。

その結果、湖産種苗3ロットについて冷水病菌、湖産種苗1ロットについてエドワジエラ・イクタルリ感染症の保菌が確認された。(表3)

表3 放流アユ種苗 保菌検査結果

実施日	実施場所	種苗の由来	冷水病			エドワーズ・イタリ症		
			検査尾数	保菌尾数	保菌率 (%)	検査尾数	保菌尾数	保菌率 (%)
4月3日	内水面総合センター	海産人工 F2	60	0	0.0	60	0	0.0
4月7日	内水面総合センター	海産人工 F1	60	0	0.0	60	0	0.0
4月26日	敦賀市	湖産養成	30	0	0.0	30	0	0.0
4月26日	敦賀市	湖産養成	29	19	65.5	29	0	0.0
5月8日	敦賀市	海産人工	30	0	0.0	30	0	0.0
5月16日	福井市	湖産養成	30	20	66.7	30	0	0.0
5月17日	大野市	湖産養成	30	5	16.7	30	0	0.0
5月17日	大野市	湖産養成	30	0	0.0	30	5	16.7
5月20日	敦賀市	海産人工	30	0	0.0	30	0	0.0
5月21日	大野市	湖産養成	30	0	0.0	30	0	0.0
1月15日	栽培漁業センター	海産人工 F1	60	0	0.0	60	0	0.0
1月15日	栽培漁業センター	海産人工 F2	60	0	0.0	60	0	0.0

(3) 海外由来種苗の魚病検査および指導

令和6年1月13日、令和6年7月20日、令和6年12月27日に県内養殖場に搬入された米国産ニジマス発眼卵および令和6年9月20日に搬入された米国産ニジマス稚魚について着地検査を行った。延べ4回の現地確認を行ったが、収容後の卵や稚魚、ふ化後の仔魚に異常は認められなかった。また、令和6年1月13日入荷群について海面業者への出荷移送前（令和6年12月20日）に保菌検査を行い、IHN、IPN、VHS、OMV、ERM（レッドマウス）、その他病原菌について陰性を確認した（表2）。